算数オンライン塾１月６日の問題　解説

（解説）

（１）A は秒速 50cm ですから 10m÷0.5＝20 秒がア

太郎君は毎秒 100cm で歩くので 4m 歩くのには 4÷1＝4 秒かかるのでイは 20＋4＝24 秒。B は秒速 70cm だから 2100÷70＝30 秒だから 24＋30＝54 秒がウ。

（答え）ア　20　イ　24　ウ　54

（２）次郎君は 54－2＝52 秒に着きました。35m を毎秒 350cm で歩いたので 35÷3.5＝10 秒で着くから、ハンカチをひろって X を再び出発したのは 52―10＝42 秒。次郎君が C に乗ったのは 20＋2＝22 秒後なので、C は 12m を 42－22＝20 秒で移動します。　1200÷20＝60cm

（答え）　60cm

（３）動く歩道で移動する時間は同じなので、20 秒＋30 秒＝50 秒

花子さんは 400cm を毎秒 80cm で歩いたので 400÷80＝5 秒。

したがって花子さんは太郎君が出発してから 9＋50＋5＝64 秒後に到着します。

太郎君より 64－54＝10 秒遅いことになります。太郎君が Z に着いたとき、花子さんは B に乗っているので、70×10＝700cm＝7m

（答え）7m

（４）次郎君が C に乗ったのは 22 秒後。そのときまで花子さんは 22－9＝13 秒 A に乗っているので、50×13＝650cm＝6.5m だから二人の距離は 10＋2－6.5＝5.5m

550÷（60＋50）＝5 秒後なので、27 秒後にすれ違いました。

次郎君が 42 秒後に X を出発するとき、花子さんは 9＋20＋5＝34 秒から 42－34＝8 秒 B に乗っているので、二人の距離は 14＋0.7×8＝19.6m離れています。

1960÷（350－70）＝7 より 42＋7＝49 秒後に追いつきます。

したがってその間の時間は 49－27＝22 秒間

（答え）22 秒間